



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場取引所 大

上場会社名 田淵電機株式会社

コード番号 6624 URL <http://www.zbr.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 貝方士 利浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部統括

(氏名) 佐々野 雅雄

TEL 06-4807-3500

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,893	△8.3	△222	—	△290	—	△329	—
24年3月期第1四半期	6,426	△20.4	17	778.4	△49	—	△84	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △546百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △161百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△8.15	—
24年3月期第1四半期	△2.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	14,636	960	6.0
24年3月期	13,611	1,517	10.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 882百万円 24年3月期 1,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	5.4	300	△10.8	200	27.3	100	399.1	2.47
通期	32,000	20.3	1,000	107.9	700	229.7	400	—	9.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	40,502,649 株	24年3月期	40,502,649 株
② 期末自己株式数	68,320 株	24年3月期	68,020 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	40,434,474 株	24年3月期1Q	35,807,363 株

25年3月期1Q

40,502,649 株

24年3月期

40,502,649 株

25年3月期1Q

68,320 株

24年3月期

68,020 株

25年3月期1Q

40,434,474 株

24年3月期1Q

35,807,363 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
4. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8
(5) セグメント情報等.....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要など内需主導で緩やかに回復していると見られるものの、円相場の高止まりや株価の低迷などから先行き不透明な状況にあります。

一方、世界経済においては、米国景気の回復遅れや金融不安による欧州経済の低迷が続いているほか、これらの影響を受ける新興国の成長性も軟調に推移するなど、世界経済の減速感が高まっています。

このような経営環境の下、当社グループでは、2年目を迎えた中期経営計画「MBP15」に基づき、2012年7月からの再生可能エネルギーの固定価格買取制度の開始などに伴い、一段と高まる「省エネ」「創エネ」「蓄エネ」ニーズに応えられるよう環境・エネルギー分野へのリソースの重点シフトに継続して取り組んでいます。具体的には、パワーコンディショナの商品ラインアップ拡充とLED照明用電源や産業・医療用電源の開発など、当社の独自技術による高付加価値商品の創出を図りました。又、円高の環境下にあつて、海外生産の拡大や生産地の最適化を推進し、材料コストの低減や総経費の削減に取り組むなど、当社グループを挙げて収益の改善に努めました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、薄型テレビ用電源など民生用電源の減少に加え、欧州向けのエアコン用リアクタの減少などにより、5,893百万円（前年同期比8.3%減）となりました。損益につきましては、売上の減少に加え、当社の主力商品であるパワーコンディショナの商品ラインアップ拡充に伴う開発費など先行費用の負担もあり、営業損失は222百万円（前年同期は営業利益17百万円）、経常損失は290百万円（前年同期は経常損失49百万円）、四半期純損失は329百万円（前年同期は四半期純損失84百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①変成器事業

変成器事業は、タイの洪水の影響が残るなか欧州向けのエアコン用リアクタの減少などにより、売上高は2,349百万円（前年同期比8.7%減）、営業利益は143百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

②電源機器事業

電源機器事業は、薄型テレビ用電源など民生用電源の減少に加え、当社の主力商品であるパワーコンディショナの開発費など先行費用の負担もあり、売上高は3,543百万円（前年同期比8.0%減）、営業損失は365百万円（前年同期は営業損失127百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は14,636百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,024百万円増加いたしました。これは主として、有形固定資産が663百万円、現金及び預金が376百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債は13,676百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,582百万円増加いたしました。これは主として、有利子負債が1,472百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は960百万円となり、前連結会計年度末に比べて557百万円減少いたしました。これは主として、利益剰余金が329百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の開始などの環境下、第2四半期以降パワーエレクトロニクス事業の拡大が見込まれることなどから、平成24年5月15日公表の業績予想に変更はありません。

・連結業績予想（第2四半期連結累計期間）

売上高	15,000百万円	（前年同期比	105.4%）
営業利益	300百万円	（前年同期比	89.2%）
経常利益	200百万円	（前年同期比	127.3%）
当期純利益	100百万円	（前年同期比	499.1%）

・連結業績予想（通期）

売上高	32,000百万円	（前年同期比	120.3%）
営業利益	1,000百万円	（前年同期比	207.9%）
経常利益	700百万円	（前年同期比	329.7%）
当期純利益	400百万円	（前年同期比	—

為替レートは1ドル80円を前提としております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これに伴う当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、平成21年3月期におきまして重要な当期純損失を計上しました。前連結会計年度には、東日本大震災に続き、タイ洪水の発生による生産活動の一部停滞などの影響はあったものの、営業利益、経常利益は黒字となりましたが、投資有価証券の減損処理による特別損失の計上等により、当期純利益は損失となりました。また、当第1四半期連結累計期間におきましては、薄型テレビ用電源など民生用電源の減少に加え、当社の主力商品であるパワーコンディショナの開発費など先行費用の負担もあり、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに損失となりました。

引き続き厳しい経営環境が見込まれる中、当社グループでは、当該重要事象を解消するため、中期経営計画に基づき、電源機器事業については医療器・産業機器向け等、より高付加価値が見込まれる分野へリソースをシフトしております。加えて、十数年にわたる住宅向け太陽光発電用パワーコンディショナの国内トップメーカーとしての基盤を生かし、昨今注目を集めているクリーンエネルギーを中心としたEMS（エネルギーマネジメントシステム）関連分野へ注力してまいります。

具体的には、「自立型蓄電機能付きパワコン」など住宅向けパワーコンディショナや中規模施設向けの中容量パワーコンディショナ等のラインナップの拡充に加え、太陽光・風力・燃料電池・蓄電池等の多種のエネルギー源に対応し、発電から電力変換・蓄電・消費までを総合最適化する高度EMSに取り組んでおります。また、アルミニウムリッツ線の接合技術による「ワイヤレス給電システム」等、当社独自技術を駆使した高付加価値商品群の開発に社内資源を集中させ、積極的な市場展開を図っております。

そのために、コスト競争力強化を図るための海外生産展開や生産能力増強に向けた設備投資、及び、研究開発投資などにより事業基盤を強化し、着実に収益体質及び財務体質の改善につなげてまいります。

これらの施策を着実に実行することで、当該重要事象を解消できるものと考えております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,556	1,932
受取手形及び売掛金	3,294	3,657
商品及び製品	1,670	1,497
仕掛品	345	457
原材料及び貯蔵品	1,922	1,970
繰延税金資産	16	12
その他	444	388
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,251	9,917
固定資産		
有形固定資産	2,610	3,273
無形固定資産	160	155
投資その他の資産		
投資有価証券	1,278	1,133
その他	300	147
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,577	1,280
固定資産合計	4,347	4,709
繰延資産	11	9
資産合計	13,611	14,636

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,840	4,836
短期借入金	1,793	2,321
1年内返済予定の長期借入金	1,083	1,334
1年内償還予定の社債	260	260
リース債務	208	192
未払法人税等	68	31
賞与引当金	115	96
製品保証引当金	—	5
その他	668	833
流動負債合計	9,038	9,910
固定負債		
社債	280	280
長期借入金	1,770	2,483
リース債務	249	245
退職給付引当金	613	616
その他	141	139
固定負債合計	3,055	3,765
負債合計	12,093	13,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,611	3,611
資本剰余金	416	416
利益剰余金	△1,604	△1,933
自己株式	△12	△12
株主資本合計	2,411	2,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△116
繰延ヘッジ損益	△4	△20
為替換算調整勘定	△971	△1,061
その他の包括利益累計額合計	△977	△1,199
少数株主持分	84	77
純資産合計	1,517	960
負債純資産合計	13,611	14,636

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	6,426	5,893
売上原価	5,837	5,550
売上総利益	589	342
販売費及び一般管理費	571	565
営業利益又は営業損失(△)	17	△222
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	5
持分法による投資利益	12	9
デリバティブ利益	16	23
その他	7	5
営業外収益合計	41	43
営業外費用		
支払利息	40	45
為替差損	45	51
その他	22	14
営業外費用合計	109	111
経常損失(△)	△49	△290
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券評価損	—	3
特別退職金	—	2
特別損失合計	0	5
税金等調整前四半期純損失(△)	△50	△296
法人税、住民税及び事業税	42	19
法人税等調整額	△13	3
法人税等合計	29	22
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△80	△318
少数株主利益	4	10
四半期純損失(△)	△84	△329

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△80	△318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	△114
繰延ヘッジ損益	0	△16
為替換算調整勘定	△35	△62
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△34
その他の包括利益合計	△80	△227
四半期包括利益	△161	△546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△161	△550
少数株主に係る四半期包括利益	△0	4

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	変成器事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,574	3,852	6,426	—	6,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高	318	—	318	△318	—
計	2,892	3,852	6,745	△318	6,426
セグメント利益又は損失(△)	149	△127	21	△3	17

(注) 1. セグメント利益の調整額△3百万円には、のれん償却額△3百万円等が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注1)
	変成器事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,349	3,543	5,893	—	5,893
セグメント間の内部売上高 又は振替高	287	—	287	△287	—
計	2,637	3,543	6,181	△287	5,893
セグメント利益又は損失(△)	143	△365	△222	—	△222

(注) 1. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。